

【報道資料】

熊本市の1年を振り返って（平成25年）

●「公用車カーシェアリング」を開始

・2月1日 公用車（プラグインハイブリッド自動車）のカーシェアリングを開始

●フランス・エクサンプロヴァンス市と交流都市を締結

・2月16日 20年以上に亘る民間レベルでの交流を礎として、同市と交流都市を締結

●第2回熊本城マラソンを開催

・2月17日 1万人のランナーが通町筋を一斉スタート。沿道には前回は上回る18万人の市民が応援に駆けつけ、ランナーに声援を送った。

●国連“生命の水（Water for Life）”最優秀賞（水管理部門）を受賞

・3月22日 熊本における地下水保全の取り組みが高く評価され、「世界水の日」である同日、同賞を受賞

・8月20日 受賞記念シンポジウムを熊本で開催

●「救急ワークステーション」設置協定を締結

・3月27日 本市と熊本医療センター、熊本赤十字病院、済生会熊本病院の3病院において、救急隊を派遣、救急医療の充実を図った。

●節水目標、開始以来初めて達成

・3月31日 市民1人1日当たりの生活用水使用量が、228.9ℓと、初めて目標の230ℓを下回った。

●「熊本市公共交通基本条例」が施行

・4月1日 「熊本市公共交通基本条例」が施行

・10月1日 公共交通機関が利用しにくい「空白地域」に、予約制の乗り合いタクシー（4路線）を導入、運行を開始

●田迎西小学校が開校

・4月1日 本市では、15年ぶりの新設校として開校

●「九州3政令指定都市市長会議」報告書まとめる

・4月11日 第3回 九州3政令指定都市市長会議を開催。九州における大都市のあり方について、3市長が協議、報告書をまとめた。

●JR鹿児島本線熊本－川尻間新駅の覚書締結

・4月27日 2016年春の開業を目指して、JR九州と覚書を締結

●「都市景観大賞（国土交通大臣賞）」を受賞

・6月14日 JR熊本駅周辺地区が、都市空間大賞の都市空間部門で最高賞の大賞（国土交通大臣賞）を受賞

●益城町、西原村の消防事務、熊本市に委託で合意

・6月24日 2014年4月から、益城町、西原村の消防事務を、熊本市に委託する協議書に調印

●台湾・高雄市と国際交流促進覚書を締結

・9月9日 経済及び教育を中心とした交流促進に関する覚書を締結

●大型クルーズ船が熊本港に就航

・9月28日 「にっぽん丸」が出港

・10月18日 「ぱしふいっくひいなす」が寄港

●自転車専用レーンが開通

・9月29日 熊本学園大通りの市道に、県内初の自転車専用レーンが開通

●富合町合併特例区が解散

・10月5日 設置期間満了により解散

●大規模な国際会議、大会が相次いで開催

・10月7日 「水銀に関する水俣条約」外交会議

・10月26日 第33回全国豊かな海づくり大会

・10月31日 第11回アジア太平洋都市サミット

●2019年女子世界ハンドボール選手権大会の県内開催が決定

・10月28日 2019年女子世界ハンドボール選手権大会の県内開催が決定した。

●くまもと森都心プラザ、来館者200万人突破

・11月14日 オープンから2年1ヶ月で、来館者200万人を突破

●熊本城の入園者数が7,000万人を突破

・11月20日 天守閣が再建された1960年からの累計で7,000万人を突破

●「障がい者サポーター制度」が発足

・12月1日 地域社会全体で、障がいのある方をサポート。誰もが暮らしやすいと感じられるまちづくりを推進。九州初の取組み

●大規模災害への対応が加速

・1月11日 地域の危険箇所や避難経路を示した「地域版ハザードマップ」の作成が各地域で始まった。

・1月16日 大規模災害対応訓練を開催。災害対策指揮室の運用、ブラインド方式による訓練を採用

・1月23日 消防団との連絡体制を整備。幹部団員の専用番号の設定

・3月1日 「スマートひかりタウン熊本」の一環として、地域版ハザードマップ（電子版）の実証実験を実施

・5月、11月 「福祉避難所の設置」「避難所における仮設トイレの設置」「ペットの救援」に関する協定を締結

●区のまちづくり事業、着々と

・区まちづくりビジョン、シンボルマークの作成、フェスタ、ウォークラリーの開催など、区のまちづくりが本格的に始まった。

●立地企業続々と

・平成25年度（H25.4.1～）の立地件数は、12月27日現在、新設9件を含む13件（昨年度同日現在では、13件）